

第 1857 回例会報告

令和 7 年 2 月 6 日(木)晴

◇会長告知◇



会長 太田 淳也
皆さん、こんにちは。
早いもので 2 月に入り、寒さも厳しくなり例年になく大雪が降ってたいへんな思いをされてる地域もありその地で暮らしている方々には申し訳なく思っておりますが、諏訪の平はお陰様で今年はまだ積雪がなく、雪かきをしなくてすんでおり、たいへんありがたく思っております。

当クラブの会長を仰せつかり、半年が経過しても、この会長挨拶を考えるのに、毎回奮闘しているところでございます。今日は、先日の 2 月 4 日の「長野日報社」の新聞からの「八面観」の記事にたいへん感銘を受けましたので、私事でございますが、皆様のお席にお配りをさせて頂きました。私の娘も、今年高校を卒業して、4 月から東京の専門学校に行く事に決まりました。父親としては、娘はこの諏訪の地で進学なり、就職なりするものと思っておりましたので、本人が自分で選択した道ですので、全力で応援していこうと思っております。この記事を書いた赤沼記者も身内や知人に旅立つ人がきつというんだらうな？と感じたところです。さて、本日は青少年奉仕委員会担当で、つつじヶ丘学園の川瀬園長様をお迎えしての例会です。先日も当クラブの小林聖仁さんが、つつじヶ丘学園に行つて学園の子ども達と親睦をしてくださりました。正にロータリーの精神を行動で実践してくださいました。私自身も聖仁さんの行動を見習わなければならぬと感じさせて頂いたところです。川瀬園長様、本日はどうぞ宜しくお願い致します。

◇ロータリー財団表彰パッチ授与◇



小口直久会員、吉澤邦雄会員、高山巖会員、長崎政直会員(欠席された成山秀幸会員も表彰されました)

◇幹事報告◇ 幹事 小笠原 仁

【報告事項】

1. ロータリー財団及び米山記念奨学会より、寄付金領収書が届きましたので、寄付いただいた皆様にお渡ししております。

【連絡事項】

1. ロータリー手帳の予約案内を回覧いたします。ご希望の方は、事務局へご連絡下さい。
2. 2 月 16 日の IM について、出欠表を回覧いたします。変更がある方は、訂正をお願い致します。
3. 来週 13 日は、16 日の IM に振替休会となります。次回通常例会は 20 日です。

【受領文書】ミンダナオの風、ロータリーの友、ゼロカーボンミーティング in 諏訪のチラシ、平和構築と紛争予防月間リソースのご案内、小規模公益法人 500 ガイドブック(公益事業支援協会より送付)、柳沢寿男下諏訪音楽フェスティバル発足会開催のご案内

【出席報告とニコボックス】

出席報告	ニコニコボックス		
	利用人数	今回の金額	
会員数	31 人	7 人	
出席対象	29 人		
出席者数	18 人	前回累計	470,000 円
出席率	62.1%	累計	483,000 円
前回修正出席数	人	目標額	60万円
前回修正出席率	%	達成率	80.5%

八面観

旅立つ友へ。希望にあふれていきますか。不安もありますか。自分で決めた道だから、間違っても後悔もないと思えます。笑顔でエールを送ります。▼新たな環境に飛び込むという、それは、年齢も経験もあるとは思いますが、なかなか私にはできない。せいぜい新たなお店に入ったり、普段は通らない道を通ってみたり。それさえも自分を持ち上げないとなかなかできない▼子どもの頃から方向音痴で、今でもそのままだ。見知らぬ土地へ行った時、頭で覚えていた場所からそれると迷いの迷路に入り込む。しかも後戻りするのが嫌で前か右か左にしか進まないため、さらに奥深くハマっていき、そのうちに元の場所に戻ってきて、そこからまた目的地へと進んでいく▼自分が選んだ道は正しかったのか、どこへ向かおうとしているのか、自分の直感を信じて決めた道だから間違いないと感じているし、後戻りできるわけではないので後悔してもしょうがない。でも振り返ってみれば、それほど悪くない人生だと思えるようになってきた▼新たな地で大変な環境になったり孤独を感じたりすることがあつたとしても、いつか心の中に今までの出会つたすべての仲間が一緒にいると思えば大丈夫。どんな状況でも乗り越えていけると思う。生きていくということに価値がある。あなた自身に価値がある。エールを送り続けます。(赤沼信彦)

2025・2・4
ご購読お申し込み ☎0190-079-910 日付06:46 日入17:17 日付06:45 日入17:18



本日は、お忙しい中、また寒い中を、当クラブにお越しを頂き、ありがとうございます。川瀬園長様、本日は、よろしくお願い致します。太田 淳也
川瀬園長 今日はお忙しい中ありがとうございます！卓話を楽しみにしております。よろしくお祈りします。北原 数也
川瀬園長 お忙しい中ありがとうございます。お話楽しみにしています。よろしくお祈りします。宮坂 英貴
川瀬園長様 本日は、よろしくお願い致します。クリスマス例会の子供達の感想聞けましたら幸いです！ 五味 弾

◇例会内容◇

青少年奉仕委員会担当例会

つつじが丘学園園長 川瀬勝敏様



日頃より地域の児童福祉、児童養護施設つつじが丘学園、子どもたちに対しご支援ご協力をいただきありがとうございます。今年度は信濃毎日新聞の土曜トークというコラムを担当していきまして、地域と子どもとのつながりをテーマに書かせてい

ただいております。

これまで、諏訪湖ロータリークラブ様と、諏訪湖清掃、フィリピンミンダナオ島とのオンライン交流、クリスマス会など、幅広くお付き合いさせていただき、子どもたちにとって行事があり地域の人と関わる時間が楽しい時間となっています。

児童養護施設は 24 時間 365 日主に諏訪地域の子どもの命を守り、自立を支援することを目的に活動しています。

夏休みには JA 信州諏訪と婦人会の皆さんと調理実習、お食事会を開いたり、冬には岡谷 BBS 会と岡谷市更生保護女性会の皆さんいっしょになってお餅つき交流会を園で開きました。

地域の人とのつながりが実感できる情事が増えてきて嬉しく思います。

しかし残念なこともありました。今年度 17 歳の男の子が白血病で亡くなりました。1 年半の病気治療を頑張っていました。生きていればこの 3 月学校を卒業するはずでしたが夢かなわずこの世を去りました。いまでもその学校に行くと玄関の下駄箱には名前があり、クラスにも名前が飾られています。彼の人望をあるでしょうが、命の大切さやつながる大切さを教えていると感じられ嬉しい気持ちになります。

施設に来る前の生活影響や先天的な病気を急に発症することもあるので、いつも職員は気を付けて大切な子どもたちの命を守っています。

また、今年県内の施設職員でボランティアを募り能登半島の災害復旧の現場にもいきました。

これから施設は地域が困った時に助けられるように、災害福祉を学び経験して活かしていきたいと思っています。

そして、子どもたちの自立の問題です。18 歳以降の生活をどうやって支援を繋げていくかが課題です。今年度は長野県社会福祉協議会といっしょに「若者サポートプロジェクト」を立ち上げ、市町村社協ともつながるようになってきました。

これからの児童養護施設は新しい子ども、地域の課題解決のための仕組み作りを考え、皆とつながり、支えあって成長をできる街づくりを目指し、子どもと共に活動していきたいと考えています。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

(川瀬様から頂いた卓話要旨を原文のまま掲載しております)



小林聖仁会員の感想より



つつじが丘学園の餅つき会に岡谷の更生保護関係団体(岡谷 BBS 会、更生保護女性会)の皆さんと参加してきました。子どもたちと餅つきしたり食べたり、楽しいひと時でした。食べている時に 1 人の小学 2 年生くらいの男の子が私の膝の上に乗ってきました。抱っこしながら「美味しかった」と聞くと笑顔でコックリしました。

つつじが丘学園でのことを RC のグループラインしたら北原会員が「お金や物を送るだけでなく、こういう活動も・・・」と言って下さり嬉しかったです。きょうの川瀬園長の話聞いて支援の在り方も工夫する必要があると思う。子どもたちを招いてのクリスマス例会の座る位置なども工夫の余地があるのではないかと思います。

最近、諏訪地域でも火災が頻発しています。乾燥していますので、火の元にはご注意ください。

